

Rotary

ロータリー
変化をもたらす

2017~2018 年度

国際ロータリーテーマ

ロータリー 変化をもたらす

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

第2790地区ガバナー 寺嶋哲生
 第6分区ガバナー補佐 志田延子
 東金ロータリークラブ会長 秋葉芳秀
 " 幹事並木孝治

東金ロータリークラブ 概要

Togane RC Information

創立 1959年9月15日
 R I 承認 1959年10月17日
 例会日 火曜日 12:30~13:30
 例会場 東金商工会館4階
 Makeup fee ¥2,000
 WEB <http://www.togane-rc.jp/>
 事務所 〒283-0068
 千葉県東金市東岩崎1-5
 東金商工会議所内
 TEL 0475-52-1101(代)
 FAX 050-3730-2559
 E-mail info@togane-rc.jp

ロータリー:
変化をもたらす

第59巻第17号 通巻第2785号

第2803回 例会

2018年(平成30年)1月16日

12:30点鐘 東金商工会議所4階例会場

Program

開会宣言・点鐘	秋葉 芳秀 会長
歌	「手に手つないで」
四つのテスト唱和	並木 孝治 幹事
お食事	みつはし
会長挨拶	秋葉 芳秀 会長
幹事報告	並木 孝治 幹事
卓話	佐藤 史郎 様 (有)佐藤金属工業 代表)
ニコニコBOX発表	親睦委員会
出席報告	管理運営委員会
閉会宣言・点鐘	秋葉 芳秀 会長

第 2801 回 例会の記録 <12月19日>

会長挨拶



秋葉 芳秀 会長

本日の例会は 2801 回目になります。東金 R C の例会は創立後 59 年間も持続しており、この伝統と実績は凄いことです。さて、本日のお客様は、鵜澤ネット（株）代表取締役の鵜澤善一様です。九十九里町不動堂で特色のある事業を展開されておられます。

個人事業の創業は、鵜澤様の先代が終戦直後にスタートしており、70 年になります。会社設立は 1959 年（昭和 34 年）1 月で、現在は 58 年目になります。縁が有るのか、東金ロータリークラブの創業と同年です。

中小企業が、社会・経済が激しく変化する中で持続するのは、大変なことです。事業継続の為の要件の中での核心は、独自性と新規性です。これは全ての業種に必須の要素で、鵜澤ネット様も、その要素を十分備えた会社です。

この後の卓話の中で、鵜澤様の事業が 70 年間も持続している秘訣などにつき、ご本人からお話ををしていただきます。

幹事報告



並木 孝治 幹事

- 理事会 1月 11 日 18 時より八鶴亭にて
- 東金市をきれいにする会 のポスターが来ています
- 2月 20 日 IM 一宮の一宮館にて開催申込書が来ています

卓話



鵜澤 善一 様

創業まで

私の父は大正 11 年生まれですが、戦争で近衛師団に居まして、昭和 21 年にお役目を解かれて九十九里に帰ってきました。父は長男なので帰ってきましたが、仕事は

全くないような状態でした。そこで周りの人たちと同じようにお米や海産物の闇物資を背負って東京に通っていました。

数年間「闇屋」をやっていました。東京に通っているうちに知り合いの人が「ボールを入れる網を作ると、いくらでも買ってくれる」と言うので、「それはいいことを聞いた」と。九十九里には漁師さんがたくさんいて、網を手で編める人たちがたくさんいました。親戚で船をやっていたところに「こういうものが作れるか」とサンプルを持って行ったら「こんなの簡単だよ」と、作ってくれました。それを何十本か、ゴムボールを作っているところに「買ってもらえますか」と持って行ったところ、結構高く買ってくれました。これは闇屋をやっているよりも網屋をやったほうがいいかな、と考えて（笑）闇米と一緒に網も持つて行き、普通に食べられる程度の収入が得られるようになりました。

ボールを入れる網を一人で作ると数に限りがあります。知り合いの漁師さんに頼むと見よう見まねで作ってくれました。その内職さんをどんどん増やしていました。そのうちに、網だけで食べて行けるようになりました。昭和24年か25年の頃から、網屋として生計を立てるようになりました。創業の時期はいくら聞いてもはっきりせず、闇屋と網屋を並行している時期があったようです。

スポーツ用のネットを作る

父は電車の中でいろいろな話をしている時「バレー ボールのネットが不足しているみたいだ」という話を聴きました。その人も詳しく知っているわけではなく、バレー ボールネットでどんなものだろうと、父はいろいろ調べましたがさっぱりわかりませんでした。たまたま近所にバレー ボールをやっていた人がいて、聞いた通りに網を手で編みました。昭和22、23年ごろに結婚した私の母は洋裁が出来ましたので、生地を縫って、中にロープを入れて浅草橋のスポーツ用品の問屋さんに持つて行ったら喜ばれました。当時は稚拙な作りだったようですが、「作ればいくらでも買ってあげるよ」と問屋さんが言ってくれました。別の問屋さんでも「いくらでも持つてくれれば買ってやるよ」と言われ、バレー ボールネットのほかにサッカーネット、バトミントンネット、テニスのネットなど、絵を描いて教えてもらいました。カタログなんてない時代でしたからね。そこでスポーツネットをいろいろと作るようになりました。網屋として普通に食べて行けるようになりました。少し余裕が出てきたのが昭和30年ころでした。



軍事用のネット

網にはいろいろな種類があります。今はほとんどの業種で網が使われています。調べてみましたが、網が使用されていない業種と言うのは二つだけでした。機械の中にも、フィルターと言う名目で細かい目の網が入っています。

昭和 20 年代に朝鮮動乱がありましたが、その頃はヘルメットにかぶせる網を作って納めていました。戦争体験者の父としては心苦しい部分もあったようですが、「人を守るために物だからいいだろう」と考えて納めていました。「偽装網」という、戦車や人にかぶせる網も作りました。当時は網に紐をつけて、その紐に自衛隊の人が木や草を縛り付けて使っていました。今はアメリカから輸入されている、網に葉っぱの形のビニールのひらひらしたものがつけてある物が採用されています。それを作戦本部などに張って、遠くから見ると、全く何もないように見えます。良くできていて、うちの偽装網は売れなくなりました。

そのほかに、物資を運ぶヘリコプターにつるためのスリングネットという網があります。周りにワイヤーがめぐらされていて、20 センチ角のロープの網に荷物を載せてヘリコプターにつるんです。昭和 50 年代ごろまではそれほど売れなかつたんですが、阪神の震災があったときに自衛隊が大活躍しまして、物資を運ぶためにニーズが一気に増えました。「人を助けるためのものだ」と、父は一生懸命作って売っていました。

湾岸戦争の時に最も活躍したのは戦車とパラシュート部隊でした。それまでのパラシュートはキノコの形になっていて、ゆっくりと降りてくるものだったのですが、最近のものは飛行機から飛び出したらすぐにパラシュートが開き、直後にすぐ着地するようになりました。敵から狙い撃ちされないようにすぐ降りる。早く降りるために、パラシュートに網をつけるんです。網でパラシュートの空気を抜くので、素早く着地できる。もともと、パラシュート部隊はエリートですが、今はさらに強化して人も増やしているようです。知識と体力が相当高いレベルの人でないと向かないようですね。今、10 年計画でパラシュートを新しいものに入れ替えるようです。私共も一生懸命納めさせていただいています。

この網は特殊なもので、作れる会社が国内に 2 社しかありません。防衛省から「こういう網が作れるか」と打診がありました。網屋は洋服屋と同じように生地屋があるんです。私共は仕立て屋で、その生地を購入していろいろな形にしてユーザーさんに納めています。仕立て屋の方が技術がいるんですが、どの生地屋さんがどんな生地が得意か把握している必要があります。わが社もたくさんの取引先があります。そういう中で、編地を買ってうちで加工して、国内に 1 社しかないパラシュート屋さんに納めています。パラシュート屋さんで網とパラシュートをくっつけます。それまではフランスの網を輸入していたようですが、わが社の方が品質が良いので、使っていただいています。実用化したのは 4, 5 年前

です。2年くらい前からかなりの量の注文をいただいております。

商売あれこれ

電力関係の仕事も昭和37、38年くらいからやらせてもらっています。当時、電力会社が困っていたのがクラゲの対策でした。発電所はタービンを水蒸気で回して発電します。発電機の冷却には海水を使用します。海水をくみ上げる時、取水口の中に粉碎機があります。高速で回って20~30センチの丸太ぐらいなら粉々になるほどすごい機械です。丸太やゴミなどは問題ないのですが、クラゲは大変。一度発生すると、何十トンというクラゲが一気に集まってきて、粉碎機が回りきれないほど入ってくる。そうすると発電機が動かせないので電力が停まってしまうんです。

20年くらい前に東京で大停電が発生しました。その時の原因は、実はクラゲだったんです。「ちょっとしてくれ」と言われて、発電所に行きました。直径2~3メーターの取水口があり、1分間に何十トンと言う海水を引き込んでいます。海水の取水口に網は張ってあったんですが、その網にクラゲがべったり張り付いてしまって、海水が入らなくなってしまっていました。

うちではクラゲ関係の網は全国の8割くらいを納めさせていただいています。いろ

いろ話をする中で「細かいクラゲは入れてしまって大きいクラゲだけを入れないようにならう」ということになり、網目を4.5センチ角から大きくして、7.5センチ角にしました。網目をくぐれる小さいクラゲは粉碎機で処理します。クラゲの大きさも、地域によって違うので、網目の大きさも変えています。日本海側は細かいクラゲが大量に発生するので、網目は3センチ角です。このように、いろいろな方とお話をしながら網を作っています。

今後のネット

最近の流行がドローン。世界中でいろいろな用途に使われています。ところが事故を防ぐため、日本では街中で飛ばせないし、飛ばすためには国交省の認可が必要になり、書類の作成や手続きが煩雑です。飛ばし方を習得したい人がなかなか練習できない。

ところが、その練習する場所を網で囲ってあるなら手続きがいらない。そこで、ドローンのメーカーが練習のためのヤードを作っています。この近くでは山田台の工業団地にあります。いま日本の各地で練習場を作る話が持ち上がっています。

今日は、皆様にお渡ししたカタログに載っていないような網のお話をさせていただきました。

欠席・Makeup の連絡は、前の週金曜日までに（緊急の場合は当日10時までに）事務局宛に、電話・FAX・Eメールにてお願いします。メキキャップ先への事前連絡もお忘れなく。

電話 090-7634-7175 / FAX 050-3730-2559
Email: info@togane-rc.jp

出席率 12月19日

会員数	出席率	コイン BOX
15名	66.66%	920円

第2802回 <1月11日>

東金ビューアRC、東金RC新年合同例会の記録

会長挨拶 幹事報告



神定 一雄 東金ビューアRC 会長



古川 秀夫 次年度会長



秋葉 芳秀 東金RC 会長



並木 孝治 次年度幹事

次年度会長・幹事 ご紹介



東金ビューアRC 猪野 達雄 次期会長



東金ビューアRC 古谷 準 次期幹事

米山奨学生授与



米山奨学生の キョウ ケンキさん (左端)
ナレットさん (右端)